



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビと Microsoft が協力し、Microsoft 365 を使用する マーケター向けに新たな生成 AI 機能を提供

Adobe Experience Cloud のワークフローとインサイトを Microsoft Copilot と連携、マーケターのコラボレーション、効率性、創造性を向上させる生成 AI ベースの機能を提供

【2024 年 3 月 27 日】

※当資料は、2024 年 3 月 26 日に米国本社から発表されたプレスリリース

(<https://news.adobe.com/news/news-details/2024/Adobe-and-Microsoft-partner-to-bring-new-generative-AI-capabilities-to-marketers-as-they-work-in-Microsoft-365-applications/default.aspx>) の抄訳です。

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、年次のデジタルエクスペリエンスカンファレンスである [Adobe Summit](#) において、Adobe Experience Cloud のワークフローとインサイトを Microsoft Copilot for Microsoft 365 に提供する計画を発表しました。これにより、マーケターはアプリケーションとデータのサイロ化を克服して、日常のワークフローをより効率的に管理できます。こうした新たな統合機能により、Adobe Experience Cloud のアプリケーションと Microsoft Dynamics 365 から関連あるマーケティングのインサイトやワークフローを Microsoft Copilot に取り込むことができ、Outlook、Microsoft Teams、Word などのツールでクリエイティブブリーフの作成、コンテンツの制作、コンテンツの承認管理、エクスペリエンスの提供などを行うマーケターを支援します。

アドビのデジタルエクスペリエンスビジネス担当シニア バイスプレジデントであるアミット アフジャ (Amit Ahuja) は、次のように述べています。「ソーシャルメディアやモバイルなど、さまざまなチャンネルが目まぐるしく変化する中、パーソナライズされたコンテンツの需要は急激に高まっており、マーケターは日常業務の効率性と生産性の向上を迫られています。マーケターは日々の業務

の大半をアドビと Microsoft のアプリケーションで行っており、今回のパートナーシップは、マーケティングチームに優れたサービスを提供し、プランニング、コラボレーション、キャンペーンの実行に関わる日常業務を合理化します。」

Microsoft の AI at Work 担当コーポレート バイスプレジデントであるジャレッド スパタロウ (Jared Spataro) 氏は、次のように述べています。「インパクトのあるキャンペーンの作成と顧客体験の強化という、最重要業務に専念できるよう、Microsoft とアドビはマーケターの支援に向けて共通の目標を掲げています。Adobe Experience Cloud のアプリケーションと Dynamics 365 から提供される、コンテキストに基づくマーケティングインサイトを Copilot for Microsoft 365 経由で業務フロー内に統合することで、私たちは共通の目標を達成しつつ、マーケターが業務を合理化し、障害を排除して、卓越した成果を達成できるよう支援します。」

マーケティング分野は複雑で、複数の専門的な役割で構成されます。そのため、ブランドコンテンツのデザインやキャンペーンの管理から、社内外のパートナーによる、複数のチャネルを横断したオーディエンスインサイトの追跡、結果の報告に至るまで、さまざまなツールが要求されます。すなわち、マーケターは、サイロ化された、異なるアプリケーションでの作業という課題に直面しており、これは連携不足に陥ることや、スピードや生産性に悪影響を及ぼす可能性があります。

Microsoft の実施した最近の調査 (*1)によると、マーケティングやコミュニケーションのプロフェッショナルの 43%は、デジタルアプリケーションやプログラムを切り替える必要性が、創造性の妨げになっていると報告しています。

アドビと Microsoft は今後、こうした課題に共同で取り組みます。マーケターは社内外の複数のチームを横断して作業を行いつつ、キャンペーンの目標、状況、アクションを管理するケースが多く、当初の機能ではこうしたニーズへの対応に重点が置かれます。これらの機能は以下のシナリオへの対応を想定しています。

- **業務フローにおける戦略的インサイト**：[Adobe Customer Journey Analytics](#) や [Adobe Workfront](#) など、Adobe Experience Cloud のアプリケーションによる適切なキャンペーンインサイトを活用し、Dynamics 365 と組み合わせることで、Copilot for Microsoft 365 エクスペリエンスは、マーケターが Outlook、Teams、Word でインサイトと最新情報を迅速に取得できるよう支援します。マーケターは、キャンペーンの効果や承認待ちの状況、取るべき

アクションや、最新のキャンペーンブリーフで定義されるオーディエンスと KPI を理解し、マーケティングプロジェクトの状況を把握するための質問をすることができます。

- **適切なコンテキストに基づき、キャンペーンブリーフ、プレゼンテーション、Web サイトの最新情報、電子メールを作成：** マーケターは複数のツールや担当者にインサイトを求めることなく、容易にデータに基づいた判断ができます。アドビと Dynamics 365 のマーケティングインサイトは、Copilot for Microsoft 365 で利用でき、ブリーフ、幹部の確認用のプレゼンテーション、レポート、最新情報を作成できます。Adobe Experience Manager Sites の機能が Copilot for Microsoft 365 に統合されることで、マーケターは Adobe Firefly の生成 AI で画像を作成し、マーケティング体験のキャッチコピーを Word で直接作成し、Web やモバイルなどのチャンネルでパブリッシュできます。
- **コンテキストに即した通知と要約を通じてプロジェクトを進行：** フィードバック、承認、作業項目の変更、締切日など、プロジェクトの状況をまとめるため、マーケターは複数のアプリケーション、電子メール、チャットを確認する必要があります。Adobe Workfront が提供するこれらの統合機能は、これらのアプリケーション間で連携し、関連するマーケティングデータを活用した通知を作成することで、あらゆる変化や取るべきアクションを常に把握できます。

詳細と最新情報については、以下のサイトにサインアップしてください。

<https://adobe.folloze.com/adobe-microsoft-personal-is-possible>

*1:機能別のペインポイントと機会に関するグローバル調査

この調査は、ワーク・トレンド・インデックスの調査の一環として、2023年7月21日から2023年11月1日にかけて、12の市場においてフルタイムの雇用者または自営業者18,100人を対象に、独立調査会社エデルマン・データ×インテリジェンスが実施したものです。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

■マイクロソフトについて

マイクロソフトは、インテリジェントクラウド、インテリジェントエッジ時代のデジタルトランスフォーメーションを可能にします。「Empower every person and every organization on the planet to achieve more.(地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする)」を企業ミッションとしています。

©2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.